

ルイジ・アントニオ・イルランディーニの尺八音楽

Shakuhachi Music of Luigi Antonio Irlandini Traditional Spiritual & Contemporary Music



鳳凰

-尺八独奏のための Ho-oo for shakuhachi solo

虚空

古典本曲 Koku [classical piece]

ウロボロス

尺八と2台のコントラバスのための

Uroboros for shakuhachi solo and 2 double basses *

* 瀬戸田 悠貴・池上 真宝

Setoda Yuki Ikegami Maho
京都市立芸術大学音楽学部
コントラバスセクション

ルイジ・アントニオ・イルランディーニ

Luigi Antonio Irlandini 作曲家 尺八奏者
サンタ・カタリーナ大学音楽芸術センター
UDESC CEART 兼任教授

リオデジャネイロ生まれのブラジル・イタリア人作曲家・尺八奏者・ピアニスト。西洋音楽のみならず非西洋楽器も用いた管弦楽曲、独奏曲、室内楽曲および合唱曲などを作曲。とくに、打楽器、リコーダー、尺八、ソロボイス、アカペラヴォーカルの作曲に注力している。西洋と非西洋、音楽と哲学、現代と古代といった対概念を共存させる作風は、国際的にも高い評価を得ている。

カリフォルニア大学音楽学部サンタバーバラ校で博士号取得。同校 1998-99 年作曲・20世紀音楽コース講師。サンタ・カタリーナ大学音楽芸術センターで2010年より和声・対位法・楽曲分析・作曲の教鞭を執る。

所長対談

ルイジ・イルランディーニ × 細川周平

Luigi Antonio Irlandini

細川周平

Hosokawa Shuhei

京都市立芸術大学
日本伝統音楽研究センター所長

ナビゲーター

中村 典子 Nakamura Noriko

京都市立芸術大学音楽学部・大学院音楽研究科准教授

—— 独自の視点で伝統と創造との共創を追求する。

今回は「伝音ライブ！特別編」と「音楽学部・音楽研究科の創造のためのリサーチプレゼンテーション」との 共創企画として、作曲家・尺八奏者で、かつ国際交流基金フェローとして来日中の、ルイジ・アントニオ・イルランディーニ氏をお迎えし、イルランディーニ氏自身の吹奏による自作曲および古典本曲をお聴きいただきます。

西洋と非西洋、音楽と哲学、現代と古代、そういった さまざまな対概念が織りなす共存・深化・循環のコスモロジーを響かせます。

日系ブラジル移民音楽研究者の細川周平伝音センター所長との対談コーナーもございます。

午後のひとときを新キャンパスでお楽しみください。

伝音ライブ！ 16:30-17:30 所長対談 17:30-18:00

後援：国際交流基金 JAPAN FOUNDATION

2024. 6.28 [金 FRI] 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター伝音セミナールーム

入場無料 申込不要
(定員50名)

京都市下京区下之町 57-1 A 棟 1 階

地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車 徒歩 6 分
京阪電車「七条」駅下車 徒歩10分
市バス 4・7・16・81・205・南5号系統「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ

問合せ 京都市立芸術大学事務局 共創テラス・連携推進課 public@kcua.ac.jp 075-585-2006 (8:30-17:15)

京都市立芸術大学音楽学部・大学院音楽研究科作曲研究室 (中村)075-585-2236 (8:00-8:30,18:00-18:30)

主催：京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター／京都市立芸術大学音楽学部・大学院音楽研究科作曲研究室
Organizer : Research Institute for Japanese Traditional Music & Composition, Faculty & Graduate School of Music, Kyoto City University of Arts